日本軍「慰安婦」問題・関西ネットワーク
2011年6月11日 ニュース No.1

連絡先：大阪市生野区勝山北
4-9-12　Cafeナビ気付
Email：ianfu_ketsugi@jca.apc.org
URL：http://www.jca.apc.org/ianfu_ketsugi/
振込口座：00980―3―209232
口座名義：日本軍「慰安婦」問題・関西ネットワーク

金学順（キム ハクスン）さんのカミングアウトから２０年

もう待てない！
今こそ日本軍「慰安婦」問題の解決を

今から20年前の1991年8月14日、韓国で金学順さんが初めて日本軍「慰安婦」だったとして名のり出られました。被害者らの人間の尊厳を求める闘いの始まりでした。

それから20年、被害者も支援者も、ありとあらゆる行動を起こしながら解決を求めてきましたが、今だ何ひとつ解決していません。被害者は、老いた身体で日本各地をはじめ世界各国を回りながら証言し、訴え続けてきました。この問題はいまや世界の人々が知るところとなり、数々の国際機関が日本政府に被害者への謝罪や賠償を含む勧告をし、アメリカやオランダ、カナダ、ＥＵ欧州連合など各国議会で同様の決議が出されましたが、日本政府はびくともしません。

日本軍「慰安婦」制度は現在も続く戦時性暴力の象徴であり、解決がなされるのか、未解決のまま今後も放置され続けるのか、国際社会も注目しています。

関西でもこの20年、さまざまな団体・グループが法的解決を求めて取り組みを行ってきました。

2008年3月、被害者の証言集会をきっかけに、宝塚市議会で市民の力で意見書可決が勝ち取られたことを受けて、2009年、これに続こうと関西各地から集まった仲間がつどい、＜日本軍「慰安婦」問題・関西ネットワーク＞をたちあげました。証言集会や各地での意見書可決運動が広がるなかで、現在全国で35の市町村議会で意見書があがっています。

また、昨年2月の政権交代を受けて＜日本軍「慰安婦」問題解決全国行動2010＞が発足、解決に向けた具体的な行動がはじまっています。私たちも地方議会から国会へ、声を届けるために全国ネットを活用しながらより実質的な解決への道を開くために努力しています。

日本は今、3月の震災・津波・原発という未曾有の被害と困難に直面していますが、「慰安婦」問題をはじめアジアの国々との未清算の戦後清算の課題がこれで終わるわけではありません。復興支援に韓国、中国をはじめ、アジア各国から多大な支援が寄せられていますが、今後日本が進むべき厳しい現実を考えたとき、アジアの国々との信頼構築は一層重要なものになるでしょう。だからこそ、「慰安婦」問題をはじめとする過去清算がきちんとなされなければならなりません。

この歴史を日韓の恨の歴史として終わらせるのではなく、真の解決と和解を実現することで平和の象徴として残すべく、全力で取り組んでいきます。

多くのみなさまが、私たちと行動をともにしてくださることを、心よりお願いいたします。

学習会「子どもたちに正しい歴史認識を」報告

『つくる会』系教科書を不採択に追い込もう

日本軍「慰安婦」問題関西ネットワーク主催で、４月23日（土）ドーンセンターにおいて「子どもたちに正しい歴史認識を――『つくる会』系教科書不採択と日本軍「慰安婦」記述復活を目指して」と題して学習会を開催しました。中学校で社会科教員をされてきて、現在「子どもたちに渡すなあぶない教科書大阪の会」で活動する相可文代さんを講師にお招きし、今年の「つくる会」系教科書の不採択運動の重要さを実感しました。

教育における史実と反省の継承こそ大事

「慰安婦」問題と「教科書」――、一体どんな関係が？と思われる方があるかもしれません。

「慰安婦」問題の「解決」には、日本政府の正式な謝罪、被害者への補償のほかに、もうひとつ大変重要な柱があると、私たちは考えています。それは、日本の侵略戦争によるこの悲惨な史実を教育の場できちんと後の世代に伝え続け、戦争の愚を教え、そして二度とこんな過ちを繰り返さないようにする、ということです。謝ってお金を払えば済むということでは、決してありません。私たち日本人にとっては、これこそが重要な課題といって過言ではないと思います。

しかし、現状は深刻です。今回検定を通過した教科書からは、「慰安婦」問題の記述はすべて消えてしまいました。「慰安婦」という文字そのものも、消えてしまったのです。私たち関西ネットのメンバーも含め、これまで多くの市民が教科書会社に対して要請をしてきましたが、恐らくその結果として、唯一、東京書籍版が「動員は女性にもおよび、戦地で働かされた人もいました」と、それらしき記述をしているだけです。

超あぶない！　自由社と育鵬社の「教科書」

今年の中学校教科書改定にあたって、一番問題になっているのは、01年から発行されている「新しい歴史教科書をつくる会」系譜の自由社および育鵬社の発行する教科書です。

この二社の教科書がいかに危ないかについて、相可さんのお話から主な点を挙げると、

①　侵略戦争の正当化（「ロシアの侵略から守る」論の展開）

②　大戦中の多大な加害事実を隠す、あるいは歪曲する。たとえば「沖縄戦」での「集団自決」への日本軍関与には全く触れていない（あれだけ問題になったのに）。米軍強襲のせいにしている。

③　個人より国家に価値をおくナショナリズムの強調。徴兵制についても、他国の法令を紹介するなど制度化への志向が見える。

④是正を指示された検定意見が、公民合わせて自由社が３７６、育鵬社２１０と、他社に比べて突出して多い（平均１６０）。

また、今回申請された教科書は、歴史経過を無視した「竹島」「尖閣諸島」の領土宣言や、中国人、朝鮮人らの「強制連行」という文字が全部消えるなど、全社にわたって右傾化していることも指摘されました。教科書問題は、この二社だけでなく、他社の「つくる会」化という事態に、実はすでに至りつつあります。

いわゆる先進国で、国による検定が行なわれているのは日本だけとのことですが、相可さんは、国のこの検定の仕組みについても、すべて非公開になっていること（中教審など他の審議会は公開であるのに）、また検定通過後の白表紙本が非公開となったため、研究者、教員や市民が意見を述べることが一切できなくなっていること、などの問題指摘もされました。いわんや、これまで検定調査官が「つくる会」副会長であったり、同会理事の肝いりで調査官になるといったことがあるなど、とんでもない事例の報告もありました。

関西ネットでも請願書と公開質問状を提出

私たち関西ネットでも、「つくる会」系教科書を絶対採択させないために、関西全域の教育委員会に対して請願書と公開質問状を提出しました。

請願項目は３つ、質問項目は５つです。

【請願項目】

① 近隣諸国条項を教科書採択基準に盛り込むこと
② 現場教員の意見の尊重
③ 「つくる会」系２社の教科書を採択しないこと

【質問項目】

① 今回すべての教科書から「慰安婦」記述が消えたことをどのように考えるか。
② 国連子どもの権利委員会は「日本の歴史教科書が、歴史的事件に関して日本の解釈のみを反映しているため、地域の他国の児童との相互理解を強化していない」と指摘していることについて、どのように考えるか。
③ アジアおよび国際社会から信頼を得るために、歴史教科書はどうあるべきと考えるか。
④ 教科書採択に際し、「近隣諸国条項」の観点は考慮されるのか。
⑤ 教科書採択において、現場教員の意見反映は行われるのか。

現在回答が寄せられている最中であり、近々結果をニュースかＨＰでお知らせしたいと思います。

今、どこの教育委員会でも教科書展示会を開催している最中であり、そこでは市民は教科書採択を前にして自分の意見を書くことができます。みなさん、自分のお住まいの展示会場に出かけていき、実際に現在の教科書がどうなっているのかご自分の目で確かめてください。そして自由社・育鵬社の教科書がどれほど突出してナショナリズムに特化し差別的であるか実感してください。

そして教育委員会に対し、自由社と育鵬社の教科書は絶対に採択しないよう、意見しましょう。

このような教科書が採択されては、「慰安婦」被害者の心を再度傷つけるばかりか、子どもたちの「まっとうな教育を受けたい」という気持ちをも踏みにじることでしょう。絶対に採択を阻止しましょう！

●●市教育委員長　様

日本軍「慰安婦」問題関西ネットワーク
共同代表／奥田和浩・田中ひろみ・西村寿美子・方清子
連絡先：大阪市生野区勝山北 4-9-12　Cafe ナビ気付
TEL080-6185-9995　Fax：06-6741-6032

2012 年度使用中学校教科書採択についての請願書

今年は新学習指導要領のもとでの初めての教科書採択の年にあたり、どのような基準で教科書が採択されるのか、私たちも注目しています。

とりわけ歴史教科書において、1997 年度には全ての教科書に記述されていた日本軍「慰安婦」関連記述が今回の検定ですべての教科書から消えてしまったことに、私たちは驚きと失望を禁じ得ません。

日本政府は 1993 年の河野官房長官談話で「慰安婦」問題について「歴史教育を通じてこのような問題を永く記憶にとどめ、同じ過ちを決して繰り返さないという固い決意」を表明して以降、その姿勢は歴代政府に引き継がれています。

また、様々な国際機関が繰り返し日本政府としての解決を求めているほか、アメリカ、カナダ、オランダ、EU ヨーロッパなど諸外国議会でも「慰安婦」問題の解決を求める決議が出されており、被害者への謝罪や補償とともに、歴史教育の必要性が強調されています。

日本国内でもここ数年、関西を中心に 35 の市町村議会で「慰安婦」問題の早期解決や歴史教育を求める意見書が可決されています。

今回、これまで「慰安婦」記述をはじめ、アジア太平洋戦争における侵略戦争の歴史的事実を記述した教科書を「自虐的」と非難し、歴史をゆがめて国内外から非難を浴びてきた「新しい歴史教科書をつくる会」系列の自由社版、育鵬社版の二つの教科書が大量の検定意見が付きながら、検定合格しました。

新たな学習指導要領では「愛国心」が目標にあげられていますが、そこには「他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと」が同時に明記され、偏狭なナショナリズムに陥ることがないように求めています。

また 1982 年の教科書問題を発端にして文科省は、教科書検定基準の中に「近隣のアジア諸国との間の近現代の歴史的事象の扱いに国際理解と国際協調の見地から必要な配慮がされていること」という近隣諸国条項を設けています。

自由社と育鵬社の教科書にみられる自国中心の歴史観は、他国や他民族を尊重すること、国際理解と国際協調を進める視点から最も対極にあります。

アジアをはじめとする国際社会からの非難を受け止め、教科書採択において歴史的事実をゆがめることなく、次代を担う子どもたちの相互理解の強化につながる教科書を採択されるよう、以下要請致します。

記

1、「近隣諸国条項」を教科書採択基準に盛り込んでください。
2、教科書採択にあたり、現場教員の意見を尊重してください。
3、自由社版歴史・公民教科書、育鵬社版歴史・公民教科書を採択しないでください。

●●市教育委員長　様

日本軍「慰安婦」問題関西ネットワーク
共同代表／奥田和浩・田中ひろみ・西村寿美子・方清子
連絡先：大阪市生野区勝山北 4-9-12　Cafe ナビ気付
TEL080-6185-9995　Fax：06-6741-6032

2012 年度使用中学校教科書採択についての公開質問状

1997 年度には全ての教科書に記述されていた「慰安婦」問題が、今回の検定結果ですべての教科書から消えてしまったことに、私たちは驚きと失望を禁じ得ません。

かつてのアジア太平洋戦争において日本軍が行なったアジア諸国の女性たちへの凄惨な性暴力の事実は、教科書から消し去ってもなかったことにはできません。過去の歴史を学ぶことで、平和や人権の尊さを学ぶことこそ歴史教育がめざすところではないでしょうか。

「慰安婦」被害者の方々は、次世代の若者たちがこの事実を学ぶことによって、再びこうした被害が繰り返されないことを一貫して訴え続けてきました。加害の歴史の反省を教科書に盛り込み、後世に伝えていくことこそ重要です。

日本軍「慰安婦」問題は現在も続く戦時性暴力の象徴的な存在として、国連人権理事会や女性差別撤廃委員会など数々の国際機関が繰り返し、日本政府に解決を求める勧告をしており、今や世界的な関心事となっています。そうした事実が教科書から消されてしまったことについて、国際的非難を免れ得ないでしょう。

本年度の中学校教科書採択にあたって、貴教育委員会の考えをお聞かせいただきたく、下記の通り質問します。

記

1、今回すべての教科書から「慰安婦」記述が消えたことをどのように考えられますか。
2、国連子どもの権利委員会は「日本の歴史教科書が、歴史的事件に関して日本の解釈のみを反映しているため、地域の他国の児童との相互理解を強化していない」と指摘しています。これについてどのように考えられますか。また、今回の教科書採択においてこの指摘を考慮されますか。
3、アジアおよび国際社会から日本が信頼を得るために、歴史教科書はどうあるべきと考えられますか。
4、歴史教科書採択において、「近隣諸国条項」の観点は考慮されるのでしょうか。
5、教科書採択において、日常的に子どもに接している現場教員の意見反映は行われるのでしょうか。

ご多忙とは存じますが、ご回答を５月末日までに文書もしくは FAX にていただけますようお願いします。また、ご回答は後日公開させていただくことを申し添えます。
お手数をおかけいたしますが、どうかよろしくお願い申し上げます。

韓国・ソウルの日本大使館前の水曜デモに連帯して、2005年10月から大阪駅前で毎月第１水曜日に水曜集会を始めて、今年は６年目を迎えています。下記の各地域で水曜集会をおこなっています。一日も早く日本軍「慰安婦」問題を解決させるために、あなたも一緒に参加しませんか。

1991年、韓国の金学順さんが日本軍「慰安婦」被害者として名乗り出られました。それをきっかけに、同じように沈黙を強いられ戦後を生き抜いてきた被害女性たちが金学順さんの勇気に押されて続いて名乗り出ました。そして1992年１月から日本大使館前で謝罪と公的賠償を求める水曜デモは始まりました。それは毎週水曜日に雨の日も、雪の日も、炎天下の夏も、マイナス10度の冬にも休みなく続けられ、今年６月１日には972回を迎えました。この間に被害女性たちは80代、90代の高齢となられ、無念の思いを残したまま亡くなられたり、病の床についている人たちもいます。そんな仲間の分も頑張ろうと、またこれからの若い人たちが自分たちのようなひどい目にあわないようにと、痛い体を引きずって毎週日本大使館前で彼女たちは訴えているのです。

しかし、日本政府は彼女たちの要求に未だ応えず、12月には1000回を迎えようとしています。

日本が戦争中にあった事実を認め、謝罪と補償をし、次の世代に繰り返さないように伝えることで、被害女性たちの人としての尊厳が回復されるのです。

被害女性たちと連帯して、共に訴えていきましょう！

毎月第１水曜日19時～　ＪＲ大阪駅前交差点南詰
毎月第２水曜日18時30分～　阪神間の駅
毎月第３水曜日18時30分～　神戸市内
※場所の変更はお問い合わせください。TEL　080-6185-9995

活動協力金のお願い

関西ネットは、それぞれの地元で「慰安婦」問題の解決をめざして活動する市民のゆるやかなネットワークです。会員制はとらず、会費も集めていません。

そんな中、集会運営・街頭宣伝・議員や教育委員会への働きかけ・本やDVDの制作と、活動範囲が拡がっていき、財政基盤を確かにする必要に迫られています。そのため、会議の場で議論を重ね、会費を集めることも検討しました。しかしながら、メンバーには従来通りゆるやかなつながりの場であり続けたいとの思いが強く、会費ではなく活動協力金の形で、運動に取り組むための資金を集めることとしました。

皆様、「慰安婦」問題の一日も早い解決をめざし、活動協力金をお寄せくださるようお願いいたします。

※活動協力金　年間１口1,000円（２口以上歓迎）※

関西ネットメンバーに手渡していただくか、あるいは、下記宛てにご送金ください。

●ゆうちょ銀行総合口座をお持ちの場合
（当会総合口座宛てにATMで）
ゆうちょ口座：14190－56256891
口座名義：日本軍「慰安婦」問題・関西ネットワーク
ご送金の旨、メールか電話でご連絡いただければ幸いです。
メールmt-nao@agate.plala.or.jp（関西ネット会計）
電話　080-6185-9995

●ゆうちょ銀行総合口座をお持ちでない場合
（振替口座宛てに振込用紙で）
振込口座：00980－3－209232
口座名義：日本軍「慰安婦」問題・関西ネットワーク

ご支援を、どうかよろしくお願いいたします。